

# チェルノブイリ被害今も

## ベラルーシ政府報告書を邦訳

No.103

一九八六年のチェルノブイリ原発事故で大  
きな被害を受けたベラルーシの政府報告書が  
初めて邦訳された。監修したNPO法人日本  
ベラルーシ友好協会(秋田市)の佐々木正光  
事務局長(左)は「日本はチェルノブイリ事故  
からしっかりと真摯に学ぶべき」と話す。

チェルノブイリ原発 状態被ばくの調査で  
あるのは、隣接する は、甲狀腺がんの発症  
率の上昇が、ベラルーシ政府の報告書は、事  
故から二十五年の節目  
に当たる二〇一一年一  
月にまとめられた。汚  
染の実態や健康被害、  
経済的な損失などを最  
新のデータとともに詳  
しく紹介している。

例えば、九百五十万  
人以上を対象とした甲



ベラルーシ政府報告書の監修を  
した佐々木正光氏(左)と事務局長  
の佐々木正光氏(右)。

率が高くて六倍以上に  
増加していた。子ども  
は事故の十年後がピー  
クで、事故のあった八  
六年の三十九倍に増え  
ていた。

被ばく低減のための  
国の施策も詳述。汚染  
地域には一〇年時点で  
百十四万人が住むが、  
健康診断や医療費は無  
料。国内の非汚染地域  
に整備された避難施設

## 監修のNPO「日本、真摯に学べ」

では、今も年間約六万  
人の子もたちを受け  
入れている。

佐々木氏は報告書に  
ついて「二十五年を経  
ても、いまだに分から  
ないことが多いことが  
分かる」と話す。かつ  
てチェルノブイリ事故  
は、旧ソ連の安全体制  
が不備だったから起き  
たかのように言われた  
ことがあった。その機  
心が福島原発後も続い  
ていないか。日本が学  
ぶことは多いはずだ」

「チェルノブイリ原  
発事故 ベラルーシ政  
府報告書(産学社)は  
百八十九頁、二千五百  
円(税別)。六日午後六  
時から東京・丸の内  
で、駐日大使らによる  
刊行記念シンポジウム  
もある。要予約。問い  
合わせは産学社(電話03  
(0272) 0013  
一八)へ。」

「ベラルーシ政府報告書」毎日新聞20130604.jpg

## チェルノブイリ原発事故 ベラルーシに学ぶ 千代田で6日シンポ

チェルノブイリ原発「物のイメージ回復など  
事故の教訓から、東京をテーマに、同報告書  
電力福島第一原発事故を参照しながら、日本  
後の日本の対策などを「事故後の取り組みを  
考える」放射能汚染の「振り返り、今後必要な  
これからを学ぶ」ベラルーシ問題について話し合  
う。

「ベラルーシ政府報告書」刊  
行記念シンポジウム 6日午後6時から、  
(日本ベラルーシ友好 千代田区丸の内3の1  
協会主催)が6日、開。KP東京丸の内会議  
室で。無料だが、予約  
が必要。問い合わせは  
シンポは、10886  
年に旧ソ連(現ウク、産学社(03・6272  
ライナ)のチェルノブ  
イリ原発で発生した

千代田の保健や健康  
診断、汚染された農産  
物へのイメージ回復など  
をテーマに、同報告書  
を参照しながら、日本  
後の日本の対策などを  
「事故後の取り組みを  
考える」放射能汚染の  
「振り返り、今後必要な  
これからを学ぶ」ベラルーシ  
問題について話し合  
う。

千代田区丸の内3の1  
KP東京丸の内会議  
室で。無料だが、予約  
が必要。問い合わせは  
シンポは、10886  
年に旧ソ連(現ウク、産学社(03・6272  
ライナ)のチェルノブ  
イリ原発で発生した

添付ファイル

- 「ベラルーシ政府報告書」毎日新聞20130604.jpg
- 「ベラルーシ政府報告書」東京新聞.jpg
- 「ベラルーシ政府報告書」毎日新聞20130604.jpg

410 KB  
328 KB  
113 KB